

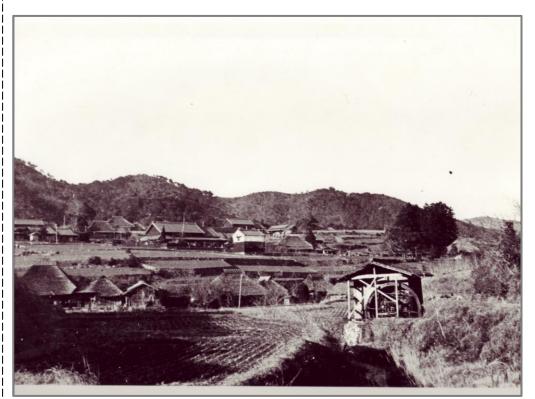
市民が育む歴史と風土に根ざした暮らしの景観 「川名ひよんどりの里」

~地域型コミュニティとテーマ型コミュニティの連携による地域の魅力再発見~

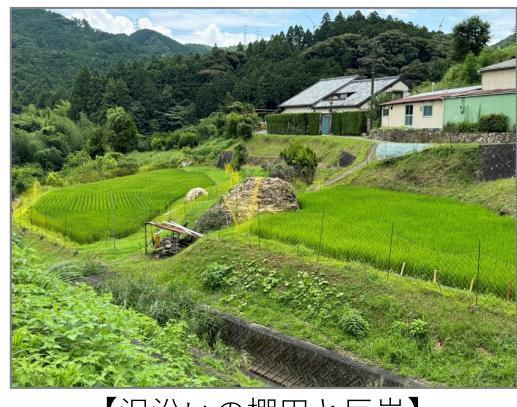
取組概要

浜松市では、歴史的風致維持向上計画及び文化財保存 活用地域計画の国認定(いずれもR3年度)を機に、自然・ 歴史・文化を活かしたまちづくりを推進しています。

市北部の中山間地域に位置する浜名区引佐町川名集落 は、国指定重要無形民俗文化財「川名のひよんどり」が 継承されている山里です。伝統行事を核とした地域社会 維持の取組のほか、保存会(川名ひよんどり保存会)とN P O 法人など(NP0法人わたぼうしグランドデザイン・-般社団法人College Impact Japan)が連携し伝統と変革 を融合しながら新たなコミュニティを創造することで、 歴史的な農山村景観の保全に努めています。



【昭和10年(1935)の様子】



【沢沿いの棚田と巨岩】



【伊豆神社と八日堂】



【段々畑での花木栽培】

【川名川と水田(6月)】

「川名ひよんどりの里」とは・・・

▶自然:東西約1.5km、標高100~130mの小盆地。 盆地の東から西へ小河川(川名川)が流れる。 地質的には秩父中古生層に位置し、集落内に 奇石・巨岩が点在。

▶歴史:国指定史跡三岳城跡に代表される井伊家ゆかり の史跡・建造物・伝承地が所在。 H29大河ドラマ おんな城主直虎の舞台。

▶生活又は生業:川沿いの平地は水田、斜面地は 段々畑として利用。段々畑では花木の生産 が盛ん。

> 「川名のひよんどり」や氏神様(伊豆神社)の祭 など農事や山仕事に関連する行事が継承。

◆伝統行事「ひよんどり」を核とした地域社会の維持継承

◆地域型コミュニティとテーマ型コミュニティの連携

▶川名ひよんどり保存会を中心に、子供から高齢者 まで地域住民が一体となり、歴史的景観を今に伝え る「川名ひよんどりの里」の景観形成に取り組んで いる。

「歴史的建造物保存修理や史跡看板設置など 景観資源の磨き上げ]

▶中山間地域におけるコミュニティ(地縁に基づく地 域型コミュニティ)活性化の新たな形として、伝統 行事「ひよんどり」を核に、学生団体・NPO法 人・一般社団法人といった多様な主体 (テーマ型コ ミュニティ)との連携を図っている。

[担い手確保、情報発信]



【正月4日に行われる川名のひよんどり】



【保存会・NPO法人・一般社団法人が連携した取組】